



2021年(令和3年)

7月14日発行

発行者：県立加茂高等学校 PTA

編集：広報部

*6ページ目は定期制のページです。



QRコードから加茂高のホームページを閲覧できます。



入学式



学校行事紹介



1年担任紹介



球技大会



家庭クラブ清掃活動



情報モラル研修

加茂高春秋

「雑感」

未曾有の国難ともいえるコロナ禍において、私たちを取り巻く環境や価値観は一変しました。とりわけ学校生活での変化は大きく、人との接触を避けるため、様々な行事が中止や変更となり、多くの経験をする機会が失われました。進路を考えいくうえで、多くの経験を積み、多くの人と接することは、多様な価値観が養われるとともに、社会人となつた時に必要なコミュニケーション能力も養われます。勉学に励み、学力をつけることも大切ですが、目に見えない「生きる力」を高めることも大切だと思います。

コロナ禍での過ごし方は、規制も多いことから悲観的になりがちですが、当たり前の事に感謝し、相手を思いやること、互いを支え合うこと、分かち合うことを忘れないで成長してほしいと思います。まずは、周りの大である私たちがその気持ちを忘れないようしたいと思います。

まだまだ先の見えない状況ではあります。が明けない夜はないと信じ、保護者の皆様と先生方とともに、子ども達が多く課題を乗り越えながら、笑顔で前向きに学び、有意義な高校生活が送れるよう、皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

PTA役員紹介

会長 尾関 里佳
副会長 鈴木 知美
副会長 長尾陽一郎
副会長 萩島 豊
副会長 山口 博子
会計 天野ひとみ
会計 奥村 有美

1年学年委員長 須田 雅代
研修部長 松田美江子
2年学年委員長 渡邊奈美子
広報部長 片桐 由香
3年学年委員長 高井 実枝
進路学習部長 横田 志保
役員選考委員長 富田 勝也



笑顔で前を向いて

PTA会長 尾関 里佳

今年度のスタートも、昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響で先が見えない状況でのスタートとなりました。

昨年度より未知のウイルスへの対策方法、一人一人の徹底した心掛けにより、今年度は少しずつですが動き出しています。まだまだ不安もあり油断もできませんが、前を向いて一生懸命に取り組めばきっと当たり前の日常が戻ると信じています。

そんな中、学校では先生方が、今 の子ども達にできることを一生懸命に考えてくださっています。そして各ご家庭でも、通常と違う状況に不安になっている子ども達を支えてくださりありがとうございます。私達PTAとしても今の子ども達に、安心・安全を最優先した、より充実し楽しい学校生活となるよう全力で

サポートしていきたいと考えております。

先の見えない不安な状況…こんな時だからこそ困った時には周りの方に頼り、支え合っていけたらと思つておりますので、ご理解ご協力をよろしくお願いします。

最後に私が心掛けていることを紹介させてください。常に自分自身が笑顔でいることと褒めることです。

褒めることは自己肯定感にもつながるといわれています。保護者の皆様方、先生方、地域の皆様方、そして加茂高生の皆さん、暗い方向に目を向けるのではなく、周りの「す」い、「や」「素敵!」などに目を向けてみてください。明るい明日が一日でも早く戻るように、笑顔で前を向いて頑張つていいましょう。

1年間よろしくお願ひします。



コロナ禍と学校教育

校長 井藤 勝夫

この4月に加茂高校の校長に着任し、早いもので3ヶ月余りが経過しました。

日頃からPTA役員の方々をはじめ保護者の皆様方には、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

昨年度は全世界が新型コロナウイルスの感染症に翻弄された一年でした。2ヶ月の休校を経て学校が再開された後も、未知の感染症への予防対策から、学校行事も相次いで中止となり、生徒が共に学ぶ機会が失われたことは本当に残念でした。

しかし、一年間の経験と知見によつて、どのような行動が感染リスクを高め、どのような対策が感染リスクを軽減するのかが明らかになりました。そこで、今年度は全てを中止とするのではなく、PTA会員の皆様との連携を図りながら、どのように形を取れば安全性を担保しつつ各教育活動が実施できるのかといふ視点を持って、学校運営を行つていただきたいと考えています。

「不易を知らざれば基立ちはたく、流行を知らざれば風新たならず。」これは芭蕉の俳諧の理念「不易流行」を門人の去来が『去來抄』の中で説明した文章です。普遍的なものを理解して新しいことも取り入れないとつまらない俳句になってしま

と解されています。

このコロナ禍の学校教育においても、今まで経験したことのない速さと大きさで変化する社会の中で、時代を超えて変わらない価値があるもの(不易)を大切にしつつ、時代の変化とともに変えていく必要があるもの(流行)に的確かつ迅速に対応していくことが求められています。

加茂高校にとっての不易とは、文武両道の校風のもと「明朗進取」「誠実努力」「信愛奉仕」の校訓に示されている精神や、未来を切り開く資質・能力である「生きる力」を育むことではないかと考えます。一方、新学習指導要領で取り入れられる新しい科目や主体的・対話的で深い学びという理念、コロナ禍の中で急速に普及してきたICT機器の利活用、オンラインで行われる授業や行事など、学ぶ内容やそのための教材、学習法、指導法については、教育における流行と言えます。

新型コロナウイルス感染症は変異株の脅威も加わり未だ収束を見通せない状況ですが、「不易流行」を見極めながら、「高い学力・健康でたくましい心身・豊かな人間性を備え自立した生徒を育成する」という本校の教育目標の実現に全力で努めていきたいと思います。



PTA総会・懇談会の様子

PTA総会開催

4月28日(水)19時より、本校においてPTA総会がオンラインで代替開催されました。PTA会長・校長の挨拶に始まり、令和2年度の事業報告・決算報告、令和3年度の事業計画案・予算案の概要を説明しました。

PTA総会終了後、各学年が3ヶ所の会場に分かれて、懇談会を実施し、オンライン代替開催を終了しました。その後、議案の承認に関するアンケートを実施しました。回答者518名(会員数747名)の回答があり、議案を「承認します」518名、「承認しません」0名で議案は承認されました。

担任学年主任等紹介

前列：正担任 後列：副担任 ◎：学年主任



伊佐治正浩	赤石	降旗	堀部	青井ゆり子	山田
英語	国語	美術	仁貴	家庭	数学
中村	細井	井上	◎津田	河村美都紀	横山
保体	篠弘	理科	健介	4組	友香
1組	英語	祐花	数学	地公	6組
		2組	悟郎	5組	
			3組		



伊藤 勢子	古田 丈博	渡辺 昌文	三田村 広隆	荒井 悠稀	武藤 ののか	杉山 典孝	保体	鳥居 淳
英語	国語	数学	国語	数学	国語	国語	保体	地公 7組
柘植 未来	後藤あやみ	◎水口	安藤 智人	岡山	上野	佐藤 智子	地公 6組	地公 6組
保体	英語	理科	理絵	数学	数学	理科	優介	地公 5組
柘植 未来	後藤あやみ	◎水口	安藤 智人	岡山	上野	佐藤 智子	地公 5組	地公 5組



羽中田聖理沙	伊藤 敏子	山本 僚郎	座馬美都志	平野 弘	天池 光広
英語	数学	数学	保体	英語	理科
木澤 門	柴田 ◎山中	中島 石井	石井 清治	野原 利江	木村 英語
慶和 1組	国語 有宏	国語 佳祐	理科 將仁	地公 5組	京子 6組
	数学 2組	3組	4組		7組



小島 治郎	古田 寿朗	金子 寿
業務専門職 大坪 美千代	進路指導部長 地六	主事
係長	笠原 常糛	
村上 明日香	教頭・数理	
主事	井藤 勝夫	
野村 美和	校長	
安江 清美	山田 哲志	
養護教諭	教頭・保	
理科助手	今井 勤	
間宮 明美	事務部	
業務専門職 北村友紀子	吉川 敏幸	
司書	教務部長・理	
室賀 文哉	酒井 宏昌	
主事	生徒指導部長 アシスタント	
小島 知己	秋川 愛	
理科助手	教員業務 吉川 敏幸	
主事	教員業務 酒井 宏昌	

テーマに従って、高山の街を散策し見ることができました。また9月の文化祭に向けた準備が進んでいます。

こうしてみると本年度もコロナウイルスによる学校生活への影響はまだまだあります。しかし、生徒達はそれに順応して生活を送つてます。制限がある中でどういったアクションを取っていくのか。それを考え方行動に移すことにつながると考えております。1年学年中丸となつてその成長をサポートしていくことを思っていますのでよろしくお願ひいたします。

入学して早3ヶ月がたちました。4月当初は緊張した面持ちだった生徒達も学校生活に慣れ始め、学習や学校の様々な活動に励んでいます。5月には本年度はインターハイ予選が無事に開催され、大きな刺激を受けたようです。7月は延期された校外研修が実施され、自ら決めた

スローガン

挑
戰

スローガン

夢の実現



1年生学年団



2年生学年団

学校の中核となる1年が、スタートしました。後輩の手本になる先輩になり、3年生の姿を見て夢の実現に向けた行動が求められる学年です。特に、進路実現については、この2学年こそ重要な学年です。大学ではどんなことが研究したいか？全国にはどんな大学があるのか？今年だからできることが、沢山あります。学校でも、地域と連携した課題研究や進路に関する取り組みを積極的に行う予定です。ぜひ、保護者の皆様も夢の実現に向けて、お子様とじっくり進路について、大学について話し合ってみてください。

高校生活最後の年がスタートしました。一人一人の姿を見ていると、コロナ禍の中で経験した様々なことが彼らの強さとなつたことが見受けられます。後輩達にとつては「理想の高校生の姿」として、そして、彼ら自身にとつては新たな一步を踏み出すための「エネルギー」として、最大限のパワーを發揮できるよう残りの時間も努力を続けていくことを期待しています。お子様が加茂高生としての誇りを胸に巣立つ日に向け、「ご家庭の皆様と一緒に、担任団一同、全力でサポートしてまいります。今年もよろしくお願ひいたします。

部活動顧問一覽



事務・担任以外

部名	顧問名	部名	顧問名
陸上競技	杉山 吉川	吹奏楽	堀部 細井 青井(片岡)
柔道	(酒井)	美術	降旗 山中
剣道	柘植 水口	文芸	伊藤敏(平野)
弓道	井上 野村	演劇	鳥居 三田村(山内・横山)
野球	佐藤 吉村 古田寿 中村	書道	安藤(鈴木)
卓球	天池 安江	自然科学	木澤(水口)
バスケットボール	男:野原(酒井) 女:津田 武藤	パソコソ	石井 渡辺
バレーボール	男:赤石 伊藤幹 女:小島知 上野	新聞	伊佐治
サッカー	一 座馬 荒井	囲碁・将棋	後藤 小島礼(武藤)
ラグビー	一 矢崎(平野)	コーラス	
テニス	男:柴田 岡山 女:門 河村	茶華道同好会	木村(櫻井)
ボート	古田丈 山本 横山友 中田		
ソフトボール	赤塚 中島 山田泰		

球技大会

6月9日(水)

5月18日に実施予定の球技大会は6月9日に延期になつていましたが、青空の下、無事に実施することができました。競技方法は3密を避けるため、学年別・2時間区切りの大会になりました。競技は団結して競技に向かう様子や負けたチームは他のチームを応援する様子も見られるなど、元気いっぱいに取り組む姿が見られた球技大会になりました。

3年生

1年生



球技大会成績

【3年生】

勝	準優勝
3組	2年5組B
2組	2年3組
5組	2年4組
2組	2年3組
5組	2年1組
2組	2年1組



全国高校総体の出場権を獲得

ソフ
トボ
ール
部

県高校総体 (5 / 29)
準決勝 加茂 × 中京
決勝 加茂 × 美濃加茂



優勝 4 - 2 - 0



☆全国高校選抜大会 (3 / 25 ~ 28)
女子舵手付きクオドルブル 4位入賞
男子舵手付きクオドルブル 予選敗退
女子シングルスカル (4 / 23 ~ 27)
横田 紗弥 4位
兼松 万綾 6位
☆アジアジュニア日本代表選考会
女子シングルスカル (横田・竹地・吉田・新保・坂元)
女子シングルスカルA 兼松 優勝
舵手付きクオドルブルAとシングルスカルのクルーが全国高校総体の出場権を得る

加茂高トピックス



2年生

令和3年度 学年

【1年生】



【1年生】

	優 勝	準 優 勝
男子バレー	1年4組B	1年1組A
女子バレー	1年4組	1年1組
男子バスケ	1年3組	1年1組
女子バスケ	1年5組	1年4組
ドッジボール	1年1組	1年5組

【2年生】

	優 勝	準 優 勝
男子バレー	2	
女子バレー	2	
男子バスケ	2	
女子バスケ	2	
サッカー	2	
ドッジボール	2	

理数科の活躍

理数科3年生が昨年度に行った課題研究の論文をそれぞれの分野で発表し、表彰されました。

第7回数理工学コンテスト

選考委員長賞

「ボールの空気圧と反発係数の関係」
可児佳紀・朝日勇介
浅野文哉・高橋幸平

★武藏野大学

環境化学会賞

「酸性雨による影響」
田口大翔・三品友都
村山航太・土井柊弥

★日本地理学会春季学術大会

高校生ポスターセッション発表賞

「岐阜県内の自然災害伝承碑の分布と特徴」
傍島琴美・中村穂菜・野呂七海



◎ こちらは定時制の「コーナーです。

濃密な時間と コロナ社会を生き抜く希望

副校長 鵜飼 陽一郎

令和3年度になつて、この国には新型コロナウイルス〔第4波〕が到来し、この原稿執筆現在（6月1日）、東京都や大阪府では緊急事態宣言が、岐阜県ではまん延防止等重点措置が延長されています。

こうした状況下、世の中の感染状況を見ながら、「同居家族以外の人とは、できるかぎり会わない。たとえ、大切なファミリーの集まりだとしても、パーテイーは自粛。」というお願いを繰り返していましたが、保健所の人とお話しする中で、「アミリー」や「パーティ」というのは、ある外国人

自分が想像している以上に大切なものであり、それを制限しようとすることは、仕方のないこととはいえない、ものすごく酷なことを言っているのではないか、と思い至りました。

その人たちにとつての「アミリー」は、血のつながりに縛られていなか。それは、18歳未満の児童がいる世帯の80%以上を占めています。「核家族」とは、全く異なるものでしょう。私はすっかり忘れていたのだけれど、まだ幼かった時、

国籍の生徒が学んでいるといふところに多くの生徒が、昼間、大人たちに混ざって一生懸命働いていたりすることがあげられます。この国が目指そうとしている「多文化共生社会」のモデルに一番近いところにあるのが本校であり、本校は一日一日、濃密な時間を共有することができる場所です。

どんな世の中になろうとも、いろいろな人たちが、自分一人では難しことを誰かのできることで補い合つて、力を結集しようとするとこに希望はあります。だから、生徒達にはこの濃密な時間の中で、仲間の姿を見ながら自分のできることをしっかりと見つけてもらいたい。現在のコロナ社会を生き抜く希望は、生徒達の姿にあります。



定時制課程のホームページは
こちらからご覧いただけます。

- サッカー部
 - 第66回岐阜県高等学校定時制通信制総合体育大会（5月30日）
二チームによりリーグ戦
優勝（全国大会出場）

部活動



- バドミントン部
 - 女子ダブルス
 - 優勝 アマド・バティレス
 - 準優勝 アセグラード・ヌエズ
 - 女子団体
 - 準優勝 アマド・バティレス
 - ビセント・バラスバス



各分野の学校・企業の方々にガイダンスをしていただきました。生徒の進路意識が高まったひとときでした。

進路ガイダンス (6月18日)



部活動等報告



☆アジアジュニア日本代表決定

横田紗弥 中国遠征(10月)の予定

☆全国高校選抜ボート大会 4位入賞!!

女子舵手付きクオドルブル

横田・吉田・吉田・新保・坂元

☆全国高校総体の出場権獲得!!

ボート部 女子舵手付きクオドルブル 横田・竹地・吉田・新保・坂元

女子シングルスカル 兼松

ソフトボール部

▼サッカー部

県高校総体地区予選(4/24・29・5/1)

準決勝

決勝

本校×可児工業

本校×中京

本校×岐阜農林

成瀬

男子

岐阜県選抜クルー補欠

優勝

4-27-0

全国高校総体の出場権獲得

2位リーグ(5/4)

本校×関有知

1-0

▼ソフトボール部

県高校総体(5/29)

東海高校総体(6/11・13)

女子

三重県大台町奥伊勢湖漕艇場

女子舵手付きクオドルブルA

女子シングルスカル

男子

成瀬

優勝

2位

島中

男子総合2位

優勝

3位

鈴木

女子総合優勝

優勝

2位

佐藤

男子シングルスカル

優勝

2位

島中

女子シングルスカル

優勝

2位

加茂B(加藤・藤井)

男子ダブルスカルB(成瀬・月東)

女子シングルスカルB(成瀬・月東)

男子ダブルスカルA(鈴木・長谷川)

女子ダブルスカルA(鈴木・長谷川)

女子シングルスカルA(鈴木・長谷川)

男子ダブルスカルA(鈴木・長谷川)

女子シングルスカルA(鈴木・長谷川)

男子シングルスカルA(鈴木・長谷川)

女子シングルスカルA(鈴木・長谷川)

男子シングルスカルA(鈴木・長谷川)

女子シングルスカルA(鈴木・長谷川)

男子シングルスカルA(鈴木・長谷川)

女子シングルスカルA(鈴木・長谷川)

男子シングルスカルA(鈴木・長谷川)

女子シングルスカルA(鈴木・長谷川)

▼テニス部 男子

県高校総体地区予選(4/24)

1回戦

本校×岐阜城北

1-2

個人(4/25)

ダブルス

辻・長谷組

0-3

▼バドミントン部 男子

県高校総体地区予選(4/25)

1回戦敗退

0-3

▼バスケットボール部 男子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼バドミントン部 女子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 女子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 男子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 女子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 男子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 女子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 男子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 女子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 男子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 女子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 男子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 女子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 男子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 女子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 男子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 女子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 男子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 女子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 男子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 女子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 男子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 女子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 男子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 女子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 男子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 女子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 男子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 女子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 男子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 女子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 男子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 女子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

▼卓球部 男子

県高校総体地区予選(4/29)

個人

ダブルス

辻・長谷組

0-1

進路実現を目指して

進路指導部長 古田 寿朗



廊下学習



放課後補習の様子



授業の様子



2年生進路講話

昨年度3年生にとって、高校生活最後の1年間は多難な年でした。2ヶ月に及ぶ休校、学校行事や部活動の制限など、まさにコロナ禍での学校生活でした。しかし、生徒達は休校期間でも、オンライン授業に取り組み、自宅で学力の維持・向上に努めました。学校が再開してからは、授業に真摯に取り組み、放課後の補習授業や土曜講座などに積極的に参加しました。その結果、学力を伸ばし、総合型選抜や学校推薦型選抜、そして、大学共通テストなど志望校合格に向け果敢に挑戦しました。早朝や放課後に職員室前に設置されている机で自主学習をしたり、担当教員のところに粘り強く足を運び、入試問題や小論文の指導を受けたりしている姿が印象的でした。

そうした取り組みの結果として特筆すべきことは、なんと言つても、岐阜大学医学部医学科（1名）、北海道大学（1名）、岐阜薬科大学（2名）など難関大に合格したことです。本校は、高い目標を持ち努力することによって、進路選択の幅を広げ、希望の進路を実現できる生徒の育成を目指しております。難関大を目指して合格した彼らの取り組みはまさにその模範です。たとえ、難関大でなくとも、志望校合格を目指し努力したことは人生に誇れる経験であると考えます。

本年度3年生も、放課後補習や土曜講座に多数参加したり、英語能力の外部検定に積極的に挑戦したりするなど進路実現に向けて例年以上に努力をしています。また、1・2年生は、総合的な探究の時間を使って、大学の学部学科について調べたり、社会問題に対して自分の考えを発表したりするなど、進路につながる学びを開いています。

受験は生徒達にとって大変な苦労を伴う経験だと思います。しかし、本校の生徒は、地道に努力し、自分の希望を叶えようとする自己実現の欲求を強く持っています。

進路希望実現のために努力することは、人間性を高め、現代社会を生き抜く力を養うと信じ、生徒とよくコミュニケーションを取りながら、進路実現の支援に今後も取り組んでいきたいと思います。

編集後記

華やかで充実した高校生活を夢見た入学式の日、加茂高校の門をくぐったはずなのに…。コロナ禍の中、2020年度は行事中止が続き、残念な気持ちを娘の背中に感じ、自分も感染しないようにヒヤヒヤしながら過ごしました。それでも加茂高だよりは年2回の発行ができました。2021年度もできる限りの行事の中での生徒の様子を伝えていきたいと思います。

（広報部長 片桐 由香）

2021年度入試合格者数一覧

	合格者数
国公立大	39 (0)
私立大	370 (2)
公立短大	2 (0)
私立短大	13 (0)
医療系専門学校	12 (0)
その他の専門学校	15 (0)
文科省管轄外学校	1 (0)
専門職大学	4 (0)

() 内は内数で過年度生数